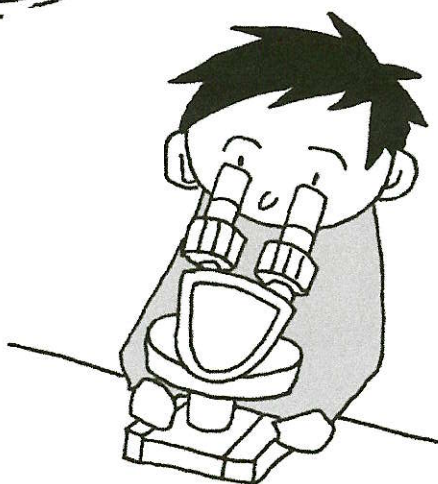
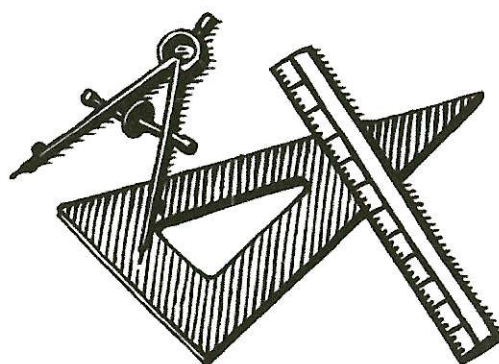
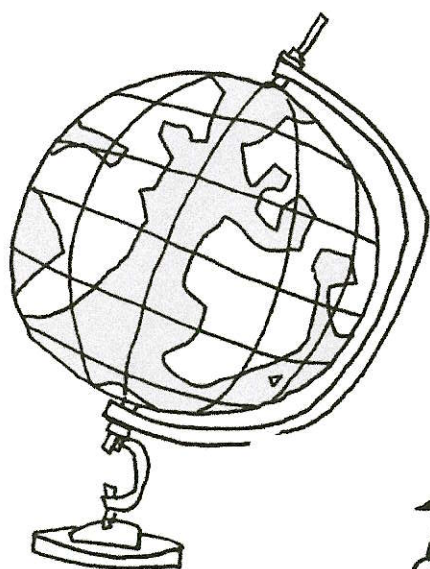


SYLLABUS

令和8(2026)年度



枚方市立中宮中学校 3年

<本校における通知表評価の方法>

大阪府公立高等学校入学者選抜で目標に準拠した評価（いわゆる絶対評価）が導入されることに伴い、枚方市では通知表の形式及び評価の算出基準を市内の中学校で統一しています。この評価方法は、各教科が設定した評価の観点及び評定（総合的評価）の到達目標に照らしてその実現状況を見るものです。

【観点別学習状況評価】

◎A, B, Cの記号により3段階で評価します。

A：十分満足できる … 観点ごとの満点の 75% 以上

B：おおむね満足できる … // 40% 以上

C：努力を要する … // 40% 未満

【評定】

各観点の観点別学習状況評価を数値化し、その合計点と観点別得点合計の両方を考慮して算出する。（両方の数値ともに満足することが必要）

①ABCの数値化 A：3点 B：2点 C：1点

②両方のカッティングは以下のとおりとする。

評価	内容	観点評価合計	観点別得点(素点)合計
5	十分満足できるもののうち、特に程度が高い	9点	85%以上
4	十分満足できる	8点以上	75%以上
3	おおむね満足できる	5点以上	40%以上
2	努力を要する	3点以上	
1	一層努力を要する	3点	20%未満

※各教科の評価材料については、「シラバス」（授業の大まかな学習計画のこと）を参照

【3学期の通知表】

3学期の通知表は、観点別学習状況評価及び評定ともに年間を通しての評価となります。また「総合的な学習の記録」「行動の様子」についてもあわせて記載します。

【通知表みほん】※実物はA4の大きさです。

学期

年 組 番

学習のようす

教科	観点別学習状況	評価	評定
国語	知識・技能		
	思考・判断・表現		
	主体的に学習に取り組む態度		
社会	知識・技能		
	思考・判断・表現		
	主体的に学習に取り組む態度		
数学	知識・技能		
	思考・判断・表現		
	主体的に学習に取り組む態度		
理科	知識・技能		
	思考・判断・表現		
	主体的に学習に取り組む態度		
音楽	知識・技能		
	思考・判断・表現		
	主体的に学習に取り組む態度		
美術	知識・技能		
	思考・判断・表現		
	主体的に学習に取り組む態度		
保健体育	知識・技能		
	思考・判断・表現		
	主体的に学習に取り組む態度		
技術・家庭	知識・技能		
	思考・判断・表現		
	主体的に学習に取り組む態度		
外国語(英語)	知識・技能		
	思考・判断・表現		
	主体的に学習に取り組む態度		

特別活動の記録

学級活動	
委員会	
部活動	

出席のようす

	授業 目数	欠席 目数	出停・ 忌引	出席 目数	遅刻	早退
学期						
計						

校長印	担任印

※3学期の通知表は、「道徳」「総合」の評価、「行動の様子」「特別活動の記録」「所見」がかわりますので、デザインが変更されます。

枚方市立中宮中学校 第3学年 国語科シラバス

○学習目標(教科の到達目標)

自分の見方・考え方、他者の見方・考え方を、言葉によって表現する、理解するという言語活動を通して、国語で物事を正確に理解し、適切に表現するという資質、能力を伸ばす。

- (1) 言葉の意味や文章の読み取り、表現の仕方を学び、国語の特質を理解し、適切に使えるようになる。
- (2) 他の人と関わる中で、言葉で伝え合う力を身につけ、考える力や想像する力を高める。
- (3) 国語の大切さを知り、言葉に対する感覚を豊かにし、大切に丁寧に言葉を使えるようになる。

○指導の重点目標

- ・「学び」とは、君たちが「すでに知っていること・体験していること」と「新しく学ぶこと」をつなげていくものです。だから、答えは一つではありません。学んでいく君たちの数だけ答があり、「学び」があります。授業を「受ける」だけでなく、自らすすんで、考え、学んでいきましょう。
- ・「対話」は、「相手との対話」、「自分との対話」、「教材との対話」の三つがあり、それぞれの活動を通して、自分の「学び」を深めていきましょう。
- ・答えを見つけるために、みんなが考えを出し合うことが最も大切です。お互いを認め合い、みんなが安心して発言できる学習環境をつくっていきましょう。

○授業の進め方(※授業を受けるにあたっての留意点)

- ・教材ごとに「つきたい力」を確認し、「つきたい力」をつけるために、自ら積極的に取り組む。
- ・「わかること」より「わからないこと」を大切に、「わからないから教えて」と訊くことから授業が始まる。
- ・訊かれたら、その人がわかるまで丁寧に教える。教えてもらったなら、もう一度自分の言葉で説明してみる。

○学習内容と学習のポイント

	単元名	学習内容	学習のポイント
1 学 期	1. 豊かに想像する 2. わかりやすく伝える 3. ものの見方・感性を養う	・言の森・握手 ・グループディスカッション ・「批判的に読む」とは 間の文化 ・課題作文 俳句の世界 俳句十句 ・批評 海を越えた故郷の味	・言葉の力を伸ばすために、積極的に語句の意味や使い方、漢字などを学ぼう。 ・自分の意見や考えを根拠を明確にしなが、書いたり話したりするなどの表現する力をつけよう。
	4. 論理的に考える 5. 古典に学ぶ 6. 情報を関係づける ・書写	・フロン規制の物語 ・パブリックスピーキング 和歌の世界 ・おくのほそ道 論語 ・見たいものだけ見る私たち ・情報の信頼性を確かめる	・ペアワークや班学習で、ほかの人の意見を聞くことで、自分の考えや意見を見つめ、さらなる深い学びを得る。
3 学 期	7. 読みを深め合う 8. 振り返って見つめる	・初恋 故郷 ・私とは何か 坊っちゃん ・名言集	・国語の授業の中に自分自身なりのおもしろさやがんばる点を見つけ、前向きな姿勢で取り組もう。

*授業の進捗状況によっては、学習する教材の順番が変わる可能性があります。

○通知表の評価について

評価の観点	評価の方法
① 知識・技能	30%(定期テスト・小テスト・授業課題など)
② 思考・判断・表現	40%(定期テスト・小テスト・授業課題など)
③ 主体的に学習に取り組む態度	30%(授業態度・提出物など)

枚方市立中宮中学校 第3学年 社会科シラバス

○ 学習目標(教科の到達目標)

「より良い社会の形成のために、自ら考え、行動することができる」

広い視野に立って、社会に対する関心を高め、諸資料に基づいて多面的・多角的に考察し、我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を深め、公民としての基礎的教養を培い、国際社会に生きる平和で民主的な国家・社会の形成者として必要な公民的資質の基礎を養う。

○ 指導の重点目標

- ① 色々な角度から物事を考え、問い(疑問・仮説)を立てる力(問い力)をつける
- ② 資料や根拠に基づいて考え、自分とは異なる考え方の人と話し合う力(対話力)をつける
- ③ 課題の解決を考え、自分の考えを他人に伝える力(行動力)をつける

○ 授業の進め方(※授業を受けるにあたっての留意点)

- ① 【予習】に取り組み、分からないところを把握(はあく)しておく。
- ② 教科書を上手く使う(大事なところや分からないところに印をつける、補足を書き込むなど)。
- ③ 毎回の授業の目標(めあて)を確認し、課題や学習の流れを把握する。
- ④ 授業中は分からないことを解決したり、ペアワーク、班学習などを通じて課題に取り組む。
- ⑤ ただ答えを写すのではなく、自分のワークシートをつくる(メモや図解・調べたことなど)。
- ⑥ タブレットは正しく、上手く使う(特に、使うときと使わないときの切り替えに注意する)。
- ⑦ ふりかえりは、感想ではなく、気づいたことや考えたことを記述する。
- ⑧ 家庭では、教科書や問題集を使って復習をしたり、タブレットを使って調べたり、次の授業の予習に取り組む。

○ 学習内容と学習のポイント

	単元名	学習内容	学習のポイント
1 学 期	【歴史】 第6章 二度の世界大戦と日本 第7章 現代の日本と私たち 【公民】 第1章 わたしたちの生活と現代社会	大正～平成時代の日本がどのようにして発展してきたのかを、現在の世界情勢と関連させて学習します。	歴史の流れをつかみ、原因やつながりの「なぜ」を考えることを大切にしましょう。
2 学 期	第2章 人間の尊重と日本国憲法 第3章 現代の民主政治と社会 第4章 私たちのくらしと経済	国民の権利や自由、政治、経済の仕組みを学びます。	現代社会の仕組みを理解し、より良い社会をつくっていくための「見方」や「考え方」を身につけていきましょう。
3 学 期	第5章 地球社会と私たち 第6章 よりよい社会に向けて	国際政治、世界平和、地球社会の抱える諸問題について学びます。	そして、社会の課題の解決策を考えたり、表現したりできるようにしましょう。

○ 通知表の評価について

評価の観点	評価の要素及び評定(5段階)にしめる割合
① 知識・技能	定期テストの「知識・技能」など (35%)
② 思考・判断・表現	定期テストの「思考」、ワークシートなど (35%)
③ 主体的に学習に取り組む態度	授業に取り組む姿勢・ワークシート・提出物等 (30%)

枚方市立中宮中学校 第3学年 数学科シラバス

○ 学習目標(教科の到達目標)

数学的活動を通して、数量や図形などに関する基礎的な概念や原理・法則についての理解を深め、数学的な表現や処理の仕方を習得し、事象を数理的に考察し表現する能力を高めるとともに、数学的活動の楽しさや数学のよさを実感し、それらを活用して考えたり判断したりしようとする態度を育てる。

○ 指導の重点目標

- ・計算力などの基礎学力の定着をめざす。また読解力や書く力・伝える力をはじめとする表現力の育成をめざす。
- ・自ら学びに向かう力の育成、他者とのコミュニケーションによって深まる思考力、学習内容を自分の興味や関心と結びつけ考えられる力の育成をめざす。
- ・数学的な見方、考え方を、日常生活の中で利用する姿勢を育む。

○ 授業の進め方(※授業を受けるにあたっての留意点)

学校 ……しっかり授業を聞き、考えましょう。また自分の考えを他者にもわかりやすく伝え、自分の表現力・思考力の向上をめざしましょう。

家庭 ……授業で間違えた所、分からなかった所を教科書や問題集などで復習しましょう。

○ 学習内容と学習のポイント

	単元名	学習内容	学習のポイント	
1 学 期	数 α	・式の展開と因数分解 ・平方根	・式の計算の利用 ・根号を含む式の計算 ・平方根の利用	正確な式の計算と因数分解、根号を含む計算ができるように日々、問題に取り組みましょう。
	数 β	・図形と相似	・平行線と線分の比 ・相似の利用	根拠を明確にして、証明を書く。定理を利用して問題を解くようにしましょう。
2 学 期	数 α	・二次方程式 ・関数 $y=ax^2$	・二次方程式の利用 ・関数とグラフ、値の変化	関数ではともなって変わる2つの数量関係を表・式・グラフで表現できるようにしましょう。
	数 β	・円の性質	・円の性質の利用	円周角の定理を活用して角の大きさを求めましょう
3 学 期	数 α	・標本調査とデータの活用	・標本調査	一部のデータから、全体の性質を推測します。
	数 β	・三平方の定理	・三平方の定理の利用	これまでに学習した内容をもとに問題を解きます。

○ 通知表の評価について

評価の観点	評価の方法	割合
① 知識・技能	定期テスト	40%
② 思考・判断・表現	定期テスト・授業や課題への取り組み	30%
③ 主体的に学習に取り組む態度	授業や課題への取り組み	30%

枚方市立中宮中学校 第3学年 理科シラバス

○ 学習目標(教科の到達目標)

身近な自然の現象について、自分の言葉で説明できるようにする。また、自ら実験・観察を計画し、身につけた基本的な知識・技能を活用し、課題を解決できるようにする。

○ 指導の重点目標

- ・身近な自然の現象について、自分なりに考え、文章で説明する力を身につける。
- ・実験・観察を実行し、結果を処理、分析、解釈する力を身につける。
- ・考察・推論したことや結論を発表したり、レポートにまとめたりする力を身につける。
- ・他の人と意見を交流することで、新たな気づきや考え方を得る。

○ 授業の進め方(※授業を受けるにあたっての留意点)

学校 ……自分の考えを持ち、他人の考えを聞いてより深めていこう。

家庭 ……その日に学習した内容が身のまわりの出来事どのようにつながっているか考えてみよう。

1,2年生の復習も各自でも進めていこう。分からないものは質問に来てください。

○ 学習内容と学習のポイント

	単元名	学習内容	学習のポイント
1 学 期	[生命] 生命の連続性 [物質] 化学変化とイオン	・生物の成長とふえ方 ・遺伝の規則性と遺伝子 ・生物の進化 ・水溶液とイオン ・酸・アルカリと塩	・生物が成長するとき、細胞はどうなるのか。生物はどのようにして子孫を残すのか。また、遺伝にはどのような規則性があるのかを理解しよう。 ・水溶液中で電流を通す正体となるものは何か。酸やアルカリの正体は何かを理解しよう。
2 学 期	[エネルギー] 運動とエネルギー [地球] 宇宙の中の地球	・力のつり合い ・物体の運動 ・仕事とエネルギー ・多様なエネルギーとその移り変わり ・エネルギー資源とその利用 ・地球とその外側の世界 ・太陽と恒星の動き ・月と金星の動きと見え方	・物体にはたらく力の間には、どのような規則性があるのか。力と物体の運動の間にはどのような関係があるのか。仕事やエネルギーとは何か。エネルギーにはどのようなものがあるのか。エネルギー資源はどのように利用されているのかを理解しよう。 ・太陽や星はなぜ動いて見えるのか。太陽のまわりを回る天体には、どのような特徴や規則性があるのか。みずから光かがやく星には、どのような特徴があるのかを理解しよう。
3 学 期	[環境] 自然と人間	・自然界のつり合い ・人間と環境 ・自然が人間の生活におよぼす影響 ・科学技術と人間 ・科学技術の利用と環境保全	・生物の間にはどのようなつながりがあるのか。人間は、自然環境とどのようにかかわっているのか。人間は、自然からどのような災害や恩恵を受けているのか。科学技術の進歩は、わたしたちの生活に何をもたらしたのか。今後も自然と人間が共存していくにはどのようにすればよいかを理解しよう。

○ 通知表の評価について

評価の観点	評価の要素及び評定(5段階)にしめる割合
① 知識・技能	定期テスト・レポート等 40%
② 思考・判断・表現	定期テスト・レポート等 30%
③ 主体的に学習に向かう姿勢	授業への取り組み・提出物等 30%

枚方市立中宮中学校 第3学年 音楽科シラバス

○ 学習目標(教科の到達目標)

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ生活や社会の中の音や音楽・音楽文化と豊かに関わる資質・能力を育成することを目指す。

○ 指導の重点目標

- ・ 幅広い音楽活動を通して、音楽に対する感性を磨き、豊かな情操を養う。
- ・ 生活や社会の中にある音楽や音楽文化と豊かに関わる資質・能力を育成する。

○ 授業の進め方(※授業を受けるにあたっての留意点)

学校 … 実技重視ですので、思い切って表現しましょう。挑戦の気持ちを忘れずに。

表現の意図について、自分の言葉で説明できるようにしましょう。

家庭 … 幅広い音楽に関心を持ちましょう。

○ 学習内容と学習のポイント

単元名	学習内容	学習のポイント
歌唱	「詩や曲の背景を踏まえ、自分なりの解釈をもって表現を工夫しよう。」 「声部の役割や響きを工夫しながら、よりよい表現を目指して合唱をつくり上げよう。」 「3年間の学習を生かし、自分がどのように演奏したいかを考え、意図をもって表現しよう。」	・ 学習を積み重ねることを意識しましょう。忘れ物は学習の積み重ねが難しくなるため、忘れ物がないように気をつけましょう。 ・ 学習内容、自分やクラスメイトの演奏などをしっかり「聴く」ことを意識しましょう。 ・ 欠席した場合、自分で学習内容を確認しておきましょう。
器楽	「音の重なりやバランスを工夫して、自分たちのリズムアンサンブルをつくり上げよう。」 「ギターの基礎的な奏法を身に付け、音色の違いを感じながら演奏しよう。」 「音の重なりや響きを感じ取りながら、アルトリコーダーでよりよい演奏を目指して取り組もう。」	
鑑賞	「ポピュラー音楽の特徴を捉え、その魅力をどのように伝えるかを考えよう。」 「音楽と社会の関わりや時代の変化に目を向け、音楽の可能性について自分の考えをもとう。」	
創作	「リズムアンサンブル全体の流れや音の重なりを意識し、リズムパターンを創作しよう。」 「旋律創作を通して、自分の想いを音楽でどのように表現できるかを探究しよう。」	

○ 通知表の評価について

評価の観点	評価の方法
① 知識・技能	実技テスト・小テスト・提出物など 35%
② 思考・判断・表現	実技テスト・提出物など 35%
③ 主体的に学習に取り組む態度	授業への取り組み・提出物など 30%

枚方市立中宮中学校 第3学年 美術科シラバス

○ 学習目標(教科の到達目標)

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、美術の創造活動の喜びを味わい美術を愛好する心情を育てる。美術の発展的な能力を伸ばし感性を豊かにし美術や文化についての理解を深め、社会とつながる豊かな情操を養う。

○ 指導の重点目標

- ・自分の思いを的確に表現するために、基礎的な知識・技能を身につける。
- ・意図や工夫をもって構想を練り、見直しをもって制作をおこなう。
- ・暮らしの中の美術や文化について理解を深め、感性を磨く。
- ・作品を展示、鑑賞することで、違いを認め合い、仲間を大切にする豊かな心を育む。

○ 授業の進め方(※授業を受けるにあたっての留意点)

学校…チャイムまでに自主的に制作準備をして、見直しをもって課題に取り組む。

また、毎回の授業で振り返りを行い、継続性のある学びを行う。

すべての道具や作品を大切に使う。

家庭…家庭学習での課題をしっかりと制作し、提出する。

○ 学習内容と学習のポイント

	単元名	学習内容	学習のポイント
1 学 期	デザイン 鑑賞	樹脂粘土	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の四季をとらえ、伝統的な和菓子「練り切り」を参考に、自分だけの和菓子を樹脂粘土で表現する。 ・夏休みの宿題
2 学 期	工芸 鑑賞 〈期末テスト〉	陶芸 西洋の美術史	<ul style="list-style-type: none"> ・伝統的な手法を学び、用途や機能性に合わせて、心が和む陶芸作品を作成する。 ・西洋の歴史や美術品を学び、国際理解や文化を継承していく。
3 学 期	デザイン 絵画 鑑賞	写真・ポスター作り 鉛筆画	<ul style="list-style-type: none"> ・学校を紹介するポスター作りで、写真を使い効果的な見せ方や編集を工夫して表現する。 ・自分の姿を見つめ、15歳の自分にしか描けない自画像に挑戦しよう。

○ 通知表の評価について

評価の観点	評価の方法 及び 評定(5段階)にしめる割合
① 知識・技能	作品、テスト(知識)など 45%
② 思考・判断・表現	アイデアスケッチ、テスト(実技)、授業の振り返り、鑑賞シートなど 30%
③ 主体的に学習に取り組む態度	授業の振り返り、提出物、授業へ取り組む姿勢など 25%

枚方市立中宮中学校 第3学年 保健体育科(男)シラバス

○ 学習目標(教科の到達目標)

心と体を一体としてとらえ、運動や健康・安全についての理解と運動の合理的な実践を通して、生涯にわたって運動に親しむ資質や能力を育てるとともに健康の保持増進のための実践力の育成と体力の向上を図り、明るく豊かな生活を営む態度を育てる。

○ 今年度の重点目標

- ・明確な課題目標を設定し、その目標達成に向かって協働的・主体的に取り組む態度を養う。
- ・ICTを活用する場面を設定し、生徒が主体となって問題を解決する力を養う。

○ 指導の重点目標

- ・基礎的な運動能力や総合的な体力を養う。
- ・仲間を大切に、互いに助け合って技術を向上させる。
- ・スポーツに興味・関心を持たせるとともに、生涯にわたってスポーツを主体的に楽しむ生徒を育てる。
- ・保健や環境衛生面での知識を持たせる。
- ・自ら学び、考え、行動する力を身につけさせる。
- ・体育理論の分野を取り入れ、スポーツを総合的に学ばせる。

○ 学習内容と学習のポイント

	単元名	学習内容	学習のポイント
1 学 期	・体づくり運動 ・体カテスト・陸上 ・水泳 ・保健・体育理論	・集団行動・体カテスト ・走り高跳び・リレー ・クロール、平泳ぎ ・健康と環境	<ul style="list-style-type: none"> ・運動の方法や理論(ルール)について理解するとともに、技術の向上を図る。 ・自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えることができる。 ・課題目標の達成に向かって、互いに学び合い、主体的に取り組む。
2 学 期	・水泳・器械運動 ・ハンドボール ・陸上・バレーボール ・保健・体育理論	・個人メドレー・マット ・パス、シュートゲーム・持久走 ・スパイク・サーブ・ゲーム ・健康な生活と病気の予防	
3 学 期	・サッカー ・バスケットボール ・バドミントン ・保健・体育理論	・パス、シュート、ゲーム ・ルール理解、ゲーム ・文化としてのスポーツの意義	

○ 通知表の評価について

評価の観点	評価の要素及び評定(5段階)にしめる割合
① 知識・技能	技能テスト、単元テスト 50%
② 思考・判断・表現	振り返りやレポート、単元テスト 25%
③ 主体的に学習に取り組む態度	授業への取組み、欠席、見学、遅刻、忘れ物等 25%

○ 年間評価 1学期…90点 2学期…150点 3学期…60点の割合で評価します。

枚方市立中宮中学校 第3学年 保健体育科(女)シラバス

○ 学習目標(教科の到達目標)

心と体を一体としてとらえ、運動や健康・安全についての理解と運動の合理的な実践を通して、生涯にわたって運動に親しむ資質や能力を育てるとともに健康の保持増進のための実践力の育成と体力の向上を図り、明るく豊かな生活を営む態度を育てる。

○ 今年度の重点目標

- ・明確な課題目標を設定し、その目標達成に向かって協働的・主体的に取り組む態度を養う。
- ・ICT を活用する場面を設定し、生徒が主体となって問題を解決する力を養う。

○ 指導の重点目標

- ・基礎的な運動能力や総合的な体力を養う。
- ・仲間を大切に、互いに助け合って技術を向上させる。
- ・スポーツに興味・関心を持たせるとともに、生涯にわたってスポーツを主体的に楽しむ生徒を育てる。
- ・保健や環境衛生面での知識を持たせる。
- ・自ら学び、考え、行動する力を身につけさせる。
- ・体育理論の分野を取り入れ、スポーツを総合的に学ばせる。

○ 学習内容と学習のポイント

	単元名	学習内容	学習のポイント
1 学 期	・体づくり運動 ・バレーボール ・水泳 ・体育理論・保健	・集団行動、体力テスト ・スパイク・ゲーム等 ・四泳法 ・健康な生活と病気の予防	・運動の方法や理論(ルール)について理解するとともに、技術の向上を図る。
2 学 期	・リレー ・陸上 ・ダンス ・器械運動 ・体育理論・保健	・バトンパス、リレー練習等 ・高跳び、持久走 ・ダンス ・マット運動 ・健康な生活と病気の予防	・自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えることができる。
3 学 期	・バスケットボール ・サッカー ・各種スポーツ ・保健・体育理論	・シュート、ゲーム等 ・ゲーム、審判のルール等 ・バドミントン等 ・文化としてのスポーツの意義	・課題目標の達成に向かって、互いに学び合い、主体的に取り組む。

○ 通知表の評価について

評価の観点	評価の要素及び評定(5段階)にしめる割合
① 知識・技能	技能テスト、単元テスト 50%
② 思考・判断・表現	振り返りやレポート、単元テスト 25%
③ 主体的に学習に取り組む態度	授業への取組み、欠席、見学、遅刻、忘れ物等 25%

○ 年間評価 1学期…90点 2学期…150点 3学期…60点の割合で評価します

枚方市立中宮中学校 第3学年 技術・家庭科シラバス

○ 学習目標(教科の到達目標)

生活の営みに係る見方・考え方や技術の見方・考え方を働かせ、生活や技術に関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を育成する。

○ 指導の重点目標

- (1) 生活と技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。
- (2) 生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなど、課題を解決する力を見いだす。
- (3) よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

○ 授業の進め方(※授業を受けるにあたっての留意点)

学校 ……しっかりと話を聞き、授業に興味関心を持ち前向きにうけること。特に実習では、勝手な行動をしないで指示通り行うこと。

家庭 ……家の手伝いを積極的にすること。

○ 学習内容と学習のポイント

	単元名	学習内容	学習のポイント
技術	現在作成中です。		
家庭	・私たちの成長と家族・地域	・家族・家庭と地域 ・幼児の生活と家族 ・これからの家族と地域	・家庭の様々なはたらきを理解し、家事に積極的に参加できる。 家庭生活と地域の関りを理解する。 ・幼児の発達の特徴を知り、家族の役割について理解する。

○ 通知表の評価について

評価の観点	評価の方法
① 知識・技能	作品・作品レポート・定期テスト 40%
② 思考・判断・表現	作品・レポート・発表・定期テスト 30%
③ 主体的に学習に取り組む態度	実習・レポート・振り返り 30%

枚方市立中宮中学校 第3学年 英語科シラバス

○ 学習目標(教科の到達目標)

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語 による聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと
の言語活動を通して、簡単 な情報や考えなどを理解したり表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る
資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

○ 指導の重点目標

- ・外国語(英語)を学ぶことを通して、広く世界を知り、世界の様々な人々を尊重し、交流することの大切さを育ませる。
- ・生徒のモチベーションを上げられるような題材を選び、学習した英語を実際のコミュニケーションに活用できるように指導する。
- ・NET(外国人英語実習助手)の授業を多く取り入れ、より実践的な英語コミュニケーション能力を身につけさせる。
- ・ICT 機器やデジタル教科書の活用について研究する。

○ 授業の進め方と家庭学習(※授業を受けるにあたっての留意点)

学校…しっかりと話を聞くとともに積極的に活動に参加し、自己表現力を養っていくこと。

失敗を恐れず、ペアやグループなど、友だちと協力して、授業に参加すること。

家庭…授業での内容を復習し、出された課題をしっかりとやること。また、「3年間の総まとめ問題集」にも取り組むこと。

単語や熟語など、何度も繰り返し学習し、スペルミスのないように丁寧に覚えること。

○ 学習内容と学習のポイント

	単元名	学習内容	学習のポイント
1 学 期	Lesson1,2,3 Reading Lesson1	現在完了進行形 受け身 現在・過去分詞の後置修飾	不規則変化動詞の活用を必ず覚えること。受け身、現在完了進行形、 分詞の用法をしっかりと理解して使えるようになってください。
2 学 期	Lesson4,5 Lesson6,7 Reading Lesson2	関係代名詞、後置修飾 仮定法 英作文	関係代名詞、後置修飾、仮定法、間接疑問文などの用法を理解し、使え るようになります。長い文が出てくるので、単語ではなく句(語のまと まり)で意味をとらえるようにしましょう。
3 学 期	Lesson8 Reading Lesson3	間接疑問文 長文読解 英作文、リスニング 総合的復習	長文に慣れ、大まかな意味をとらえられるようにしましょう。 入試に向けて英作文やリスニングにも積極的に取り組みましょう。

○ 通知表の評価について

評価の観点	評価の方法(めやす)
① 知識・技能	40% 定期テスト、小テスト、単元テスト、リスニングなど
② 思考・判断・表現	30% 定期テスト、リスニング、ライティングなど
③ 主体的に学習に取り組む態度	30% 提出物、ふりかえり、授業に取り組む姿勢など